

ロボットプログラミング体験教室 開催報告

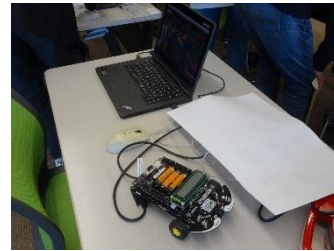
1. 開催日時：令和4年10月29日（土）12：30～17：20
2. 開催場所：尼崎商工会議所 701・702会議室
3. 参加者数：38名（当日キャンセル2名）
学年 4年：20人、5年：14人、6年：4人
4. 開催の様子：



双星高校・藤井先生よりプログラミングの仕組みについて講義



双星高校の高校生より、プログラミングをレクチャー



パソコンで組んだプログラミングをロボットへ



実際にロボットを動かした



産業技術短期大学・二井見教授より講演



まずはロボットを組み立て



工具を使って一生懸命組み立てた



組み立てたロボットをパソコンに繋いで実際に動かした

5. 内 容

【第1部】

産業技術短期大学機械工学科・二井見教授より、「きみも、ロボット博士になろう」と題して、二井見教授が開発したロボットの紹介やロボットがどのように社会や仕事に活かされているかを講演いただいた。

また当事業にご協力いただいている㈱エアグラウンドの畠中氏からも、同社が製作している「ワザカタログ」の資料を用いて、プログラミングやロボットが活かされている職場の事例が紹介された。

【第2部】

701、702会議室に子供たちが分かれ、それぞれプログラミングとロボットを動かす体験を行った。

701会議室で、双星高校の藤井先生と情報技術部の学生が、子供たちにプログラミングを指導。サッカーロボットのプログラミングを行い、実際にロボットを動かした。

702会議室では、二井見教授、㈱エアグラウンドのスタッフが指導のもと、アームロボットの組み立てを行い、それを実際にプログラミングを用いて動かした。

それぞれ、プログラミングがうまく組みロボットを思い通り動かせる場合と失敗する場合があったが、失敗を通して、成長していく子供達の姿を見ることが出来た。

アンケートでは、ゲームを作りたいという声が多く、次年度に活かすことが出来るよう検討したい。